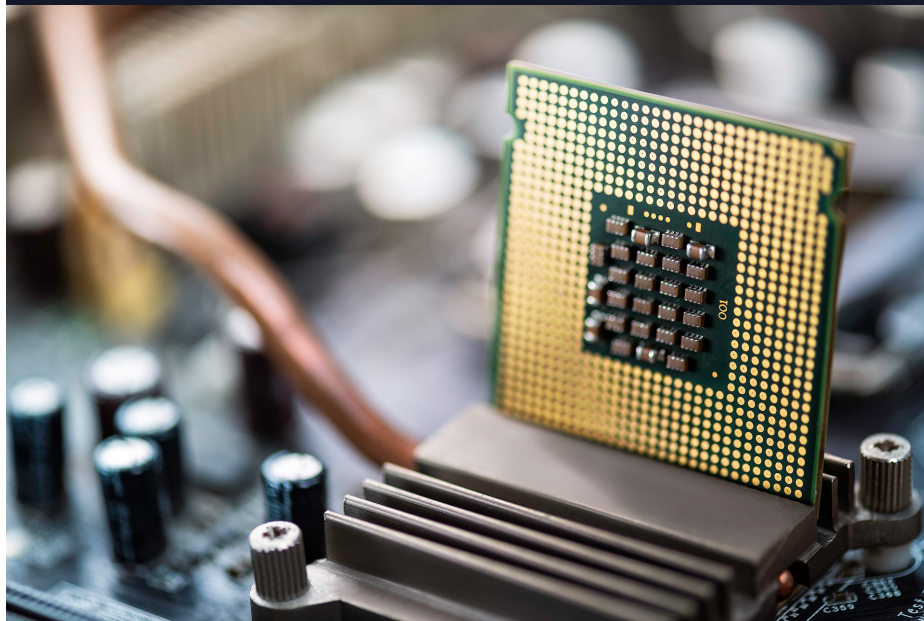




関連分野

インターネット & テクノロジー
国際貿易

フィンテック

ウェビナー

通信業界における米国輸出規制への対応

開催日時

2021年7月22日

11 a.m.-Noon (Eastern)

講師



**アダタヨ オストン
ゲン**
パートナー



**クリスティーン J.
ソハー・ヘンター**
パートナー



**ニコラス A. ガル
ブレイス**
パートナー



**クリスティーン H.
マッカーシー**
パートナー

通信業界は、外交政策や国家安全保障上の問題として注目される昨今、米国の輸出管理や制裁関係法の強化が求められています。このような法律は、米国市民（および非米国市民）がどのような企業と合法的に取引或いは投資をし、ビジネスを行うことが可能であるかが絶えず変化しています。企業は、チップ不足への対応に奔走しなければならないだけでなく、ようやくチップを手に入れても、最終製品を何処に、また誰に、提供できるかという無数の制限を乗り越えなければなりません。これらは非常に目まぐるしく変化しています。

そこで今回のウェビナーでは、当事務所の通信および国際貿易分野の弁護士が、業界に影響を与える最近の動向と、コンプライアンス戦略について解説します。内容として以下を予定しています。

- 産業安全保障局 (Bureau of Industry and Security) による最近の輸出入規制、特に中国の通信会社に関する取締りからの教訓とは。

- 米国製の電気通信機器、ソフトウェア、技術の輸出を管理する米国の規制（製品や技術のライセンス要件や適用される可能性のあるその他のルールを含む）にはどのようなものがあるか。
- 電気通信機器やソフトウェアには一般的に暗号化機能が含まれているが、暗号化に関連する米国の輸出管理のルール、特に2021年に変更されたルールにはどのようなものか。
- 米国外国資産管理室（OFAC）は、米国企業によるビジネス取引を規制している。なぜスクリーニングが不可欠なのか？
- チップ不足は、米国市場のさまざまな業界に影響を与えている。これまでの経緯や、サプライチェーンや流通チェーンがシフトする中で懸念されることは何か。

講師についての詳細は[英語版](#)をご参照下さい。

ウェビナーでは、Q&Aセッションを行います。Q&Aの際にご質問いただくか、お申し込みの際にご質問をお寄せください。

セミナーは英語で行われます

ウェビナーに関しましてご不明な点がございましたらjapaneseinfo@btlaw.comまでお気軽に日本語でご連絡ください。

Questions? Email [Lindsay Hulliberger](#) or call 312-214-5661.